

日野駅前通り共栄会

ペットボトルキャップ回収 100万個突破!



日野駅前通り共栄会（会員数33店）では、平成19年7月からペットボトルキャップのリサイクル回収に取り組みられており、このたび100万個を突破されました。

●これまでの累計

約**119万4千600**個
(重量約**2986.5**kg)

●CO₂排出削減量

9,407kg

回収されたペットボトルキャップは、各地の共同作業所の仕事としてリサイクルルートに乗り、再生プランターやモップの柄として日野町に戻ってきます。

祝100歳

おめでとうございます

ふなかわ

船川 ちよさん（西大路2区）

▶前列左から2番目がちよさん



2月26日、西大路2区にお住まいの船川ちよさんが100歳のお誕生日をお迎えになり、同月28日に、町長をはじめ関係者がお祝いに伺いました。明治44年生まれの船川さんは、今でも毎日欠かさず新聞には目を通し、政治や社会情勢に幅広く関心をもたれています。また、お孫さんと一緒に過ごす時間が何より楽しいとお話いただいた船川さんの周りにはいつも温かい雰囲気があり、この優しく和やかな雰囲気がいままで元気で長生き出来る秘訣なのではないでしょうか。明るく優しい船川さん。100歳、おめでとつございます。お体を大切に、いつまでもお元気でいてください。

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

3月11日14時46分に発生した東北関東大震災は、阪神大震災をはるかに超える未曾有の悲惨な状況となりました。亡くなられた皆さんに心より哀悼の意をささげます。また、被災者の皆さんにお見舞いを申し上げますとともに1日も早い復興を願うばかりです。

11日の発災時は、議会の一般質問中であり4階の議場で揺れを感じました。暫時休憩し状況把握に努めました。翌12日には日本水道協会から支援要請があり、直ちに職員派遣を決定。13日に準備を整え14日の朝、給水タンク車1台と職員2名が出発。以降、交代要員を派遣しました。同日午前中に区長会、社会福祉協議会、日赤奉仕団の代表者と相談し、町民の皆さんに義援金をお願いすることとなりました。また、被災者を「疎開」で受け入れてはどうかと提案をいただき、15日には県と町村会に提案。16日には町村会6町で1、0

00人の受け入れを決定。日野町では公民館などでの受け入れのために関係団体に要請しました。早速21日から「被災者」の方々が避難されてきました。また、福島県新地町の議会が昨年5月に日野町に視察に来られたご縁から議会同士の連携で救援物資の支援を決定。19日にはマイクロバス満載の救援物資を届けました。被災地では、町が壊滅状態になったところ、救援の手が届いていないところもあります。避難所では多くの皆さんが不自由な生活を余儀なくされています。原発の被災に伴う「放射能汚染」を心配する声も広がっています。国を挙げて対策を講じ全力で救援することが大切です。

町民の皆さんからはいち早く「救援物資を届けたい」「町長、募金活動してや」「家で受け入れてもええで」「なんでも協力する」などとの声を頂いています。町民の皆さんの温かさや心意気を実感しました。

今後どのような状況になるのか予断を許しませんが、全力を挙げて出来るかぎりの支援に町民の皆さんとともに取り組みたいと思います。ご協力をお願いします。